



# FS式煙体験ハウス FS-14L型

火災による死因の3割は煙に巻かれて窒息したことによります。\*1

その煙の怖さを、体験して学ぶ煙体験ハウス。

学校における避難訓練や自治会における防災訓練の一環としてご利用下さい。

**煙の怖さを体験して学ぶ！！**

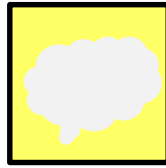


※画像はイメージです

当社の煙体験ハウスは、煙がどのように動くのかを目で見て確認して頂くために、オレンジ色の生地を使用しています。



当社



A社



B社

## 特徴

- 美しい外観。
- 過酷な使用に耐える頑丈な設計。
- 運搬保管に便利なコンパクト設計。
- 防災生地を使用。
- 出入り口は便利なファスナー開閉式。
- 自分で逃げ道を探すために、内部を仕切り幕により簡単な迷路にしています。

\*1 総務省消防庁ホームページ 令和元年消防白書より

(各年中)

(人、%)

附属資料1-1-18 火災による死因別死者発生状況の推移

	一酸化炭素 中毒・窒息	火傷	打撲・骨折等	自殺	その他	不明	総計
平成26年	473 (28.2)	596 (35.5)	10 (0.6)	409 (24.4)	47 (2.8)	143 (8.5)	1,678 (100.0)
平成27年	501 (32.1)	487 (31.2)	3 (0.2)	349 (22.3)	76 (4.9)	147 (9.4)	1,563 (100.0)
平成28年	431 (29.7)	479 (33.0)	2 (0.1)	336 (23.1)	66 (4.5)	138 (9.5)	1,452 (100.0)
平成29年	435 (29.9)	474 (32.6)	2 (0.1)	304 (20.9)	77 (5.3)	164 (11.3)	1,456 (100.0)
平成30年	441 (30.9)	497 (34.8)	4 (0.3)	236 (16.5)	83 (5.8)	166 (11.6)	1,427 (100.0)

平成30年中の火災による死因は、火傷が497人(34.8%)と最も多く、次いで一酸化炭素中毒・窒息が441人(30.9%)となっている。